



⑤ 関宿学童保育所は夜7時まで利用可能



⑥ あらゆる子育て情報を提供



⑦ 健康づくり教室で介護予防



⑧ せきやど図書館には子ども郷土資料コーナーも



⑨ 関根名人記念館での子どもの将棋大会

福祉業務などのサービスを充実。同時に、関宿地域の北・南・中部コミュニティセンターを公民館とし、野田地域の5か所の郵便局とともに、住民票、印鑑証明、戸

学童のおかげで仕事に専念

古石明子さん(関宿台町)



以前は、子どもの下校に合わせて仕事の時間を調整していましたが、待望の関宿学童保育所ができて、時間をおくことに専念できるようになりました。また、学童保育所は、学校内にあるので、安全ですし、子どもも毎日楽しんでいて、よいです。

ひとり親家庭に対しては、資格や技能の修得を支援するため「母子家庭自立支援教育訓練給付金」や「母子家庭高等技能訓練促進費」、「自立支援プログラム」の策定を、一方事業者に対しては「母子家庭常用雇用転換奨励金事業」

授産施設が目吹地区で、社会福祉法人が運営する知的障害者通所更生施設が、船形地区で市が整備を進める第二の福祉ゾーンで開設しました。「障害者自立支援法」の施行にあたり、関係団体や施設運営者などから意見を伺い、「障害者グループホーム等入居者家賃助成金」や「障害者支援施設等通所者交通費助成金」など市独自の支援も行っていきます。また、少子化が進む中、子育て支援策を積極的に進め、平成17年7月に、

関宿小学校内に学童保育所(⑤)を、18年1月には、二川小学校内(現在は、いちいのホール内)に「つどいの広場」を開設し、関宿地域の施設整備を進めました。病気や病後回復期の子どもを一時的に保育する「病児・病後児保育事業」や子育て支援サービス情報を提供する「子育て支援総合コーディネート事業」(⑥)、自宅で一時的に保育する「訪問型一時保育事業」、「子育てガイドブック」の無償配布、昨年10月からは、要望の多かった乳幼児医療費助成の拡充なども行いました。

により奨励金を支給し、安定した就労による自立を支援しています。また、住居の確保が困難な場合は、「ひとり親家庭等及びDV被害女性民間賃貸住宅入居時家賃等助成事業」や、「住宅困窮者民間賃貸住宅居住支援事業」により、支援しています。

さらに、高齢化社会が本格化する中、高齢者だけではなく、団塊の世代の人たちも住み慣れた地域で楽しく社会活動に参加できるよう「健康づくり推進プロジェクト」を開始し、「健康づくり教室」(⑦)、「スマートダイエット教室」(⑧)、「えだまめ体操」作成など、介護予防と生活習慣病予防に取り組んできました。

印鑑証明も近くの郵便局で

張替悦子さん(目吹)



車を購入した時に印鑑証明が必要となり、市役所まで取りに行こうとしましたが、郵便局でも手続きができることを、市報で読みました。窓口も混まず、スムーズに取得できたことはもちろん、何より歩いて行けるのがいいですね。

窓口業務がより便利に

一方、野田地域の3か所の出張所の窓口では、新たに税や国民健康保険、らの要望を十分に取り入れた形で、旧役場を複合施設「いちいのホール」としてリニューアルしました。住民窓口サービスをそのまま維持した関宿支所をはじめ、これまでに関宿地域になかった図書館(⑧)やことば相談室、コミュニティ会館や関根名人記念館(⑨)などを整備しました。